

FREPORT

筑紫女学園報

No. 99

2019 September
2019年(令和元年)9月25日

Special Issue

中学校
高等学校 [新コース編成、ICT教育、オンライン英会話を導入]

これからの時代を 生き抜くための教育改革

- 大学／キャンパススマイルの取り組み
令和の時代に寄せて・食堂&レストランリニューアル
- 幼稚園／新園舎完成
- 中期計画「筑女プラン2023」進捗ご報告
- 法海(こころに響くことは)
- 決算報告
- 寄付情報・人事
- 入試情報・公開講座

その教育、しなやかで、ゆるぎない。
学校法人 筑紫女学園

<http://www.chikushi.ac.jp>

筑紫女学園



「思慮」

言わずとも、私は佛教徒であり、念佛者であります。親鸞聖人に人生を学ぶ者であります。故に、私が物事を見る目線も思考もその立場に立っています。その立場で問いながら、同時にその立場をも問います。

人間は考える葦だといった人がありましたが、そのことに少し疑義を覚えます。

果して人は、それほど思慮深いだろうかと思うのです。

突然、思考する人はいない。思考せねばならない問題が生じることから思考する。

眼前に起こったことでも、問題にしなければ思考しない。「関係ない」で終わる。

自分の死を含めた自分の人生でも、考えないようにしている、それだから関係ない。

また、考えねばならないことがあったとしても、その前に立ちふさがることがあります。それが私の持っている、私の常識です。私の常識が壁となって、それ以上の思考ができなくなります。

その壁を破るには、まず聞くことです。私達は色々と教えられて育ちました。次には本を読むことです。そして自分の考えを文章化することです。客観的な見方も生まれます。最後は他の人との議論です。議論に優劣は無用です。ただ視点の違いを見分けて、そういう見方もあるかと知ります。聞く、読む、書く、話す。思慮深い人になりたい、常々思っています。

これからの時代を生き抜く未来ある若者たちにもこうした力を身につけてほしい。そのために、私たちにできることは何かを常に考え続けています。



学校法人筑紫女学園
理事長

杉山 眞乗

目次／INDEX

2	●Special Issue 新コース編成、ICT教育、オンライン英会話を導入 これからの時代を生き抜くための教育改革
11	●Special Topics 大学TOPICS／キャンパススマイルの取り組み 令和の時代に寄せて・食堂&カフェリニューアル
13	●Special Topics 幼稚園TOPICS／新園舎完成
15	●Special Topics 中期計画「筑女プラン2023」進捗ご報告
15	●Column 法海（こころに響くことば）
16	●Information 2018年度学校法人筑紫女学園決算報告
17	●Information 寄付情報・人事

Special Issue

中学校
高等学校

〔新コース編成、ICT教育、オンライン英会話を導入〕

これからの時代を 生き抜くための教育改革

令和の時代が始まり、社会情勢は激しく動き、変革の風が吹き続けています。

筑紫女学園もこれからの時代を生き抜いていくために
どんな力を身に付けるべきか、何を学ばせるべきか、
常に最適を考えながら教育改革を行っています。

本特集では、中学校・高等学校で開始する
新しい試みや取り組みについてご紹介してまいります。



Special Interview

スペシャルインタビュー

中学校
高等学校

変わりゆく時代の中で 立ち続けるために

筑紫女学園中学校・高等学校

校長

松尾 圭子

112年の歴史と伝統に 支えられてきた今に感謝し、 未来を見据えて

筑紫女学園は、初代校長である水月哲英先生により創設され、112年の歴史と伝統を築いてまいりました。当時、アメリカを訪れた水月先生が、生き生きと働く女性たちの知識の豊かさや社会的地位の高さに驚き、「日本の女性たちにも強くしなやかに生きていく力を身に付けてほしい。そのための教育の道を開くのが自らの使命」とお考えになったのです。その後、時代とともに女性たちは随分生きやすくなりました。以前に比べると性差の開きも小さくなってきたといえるでしょう。こうした背景に、水月先生のような先見の明がある方々が道を開いてくださった歴史があることを決して忘れてはいけません。

それと同時に、今を生きる私たちは次の時代を見据えていかななくてはなりません。筑紫女学園が変わらずに存在し続けるためには、変わる部分も持たなくてはならないのです。歴史と伝統に甘んじるのではなく、これ

からの時代を生き抜く女性たちのため、仕事・結婚・出産など、いかなるライフステージにおいても困らない素養を身に付けさせるために何が最適かを考え続けていく必要があります。

これからの時代を生き抜くため 思考力・判断力・表現力を磨く教育へ

これまで、速くたくさん知識を詰め込み、とにかく反復していくような学習法が主流でした。しかし、流動的で変化の多い現代においては、基礎的な技能も大切ですが、臨機応変に対応するための思考力・判断力・表現力といった複合的な力が求められます。社会で直面する問題は必ずしも習ったことばかりではなく、答えのない問いだってあるでしょう。そうした場面で役に立つのは知識よりも応用力ではないのでしょうか。積み重ねた深い知識で解けない問題でも、その都度、答えを見つけ出す方法さえ知っていれば、動じることなく立ち向かっていけるのです。

筑紫女学園中学校・高等学校では、これ

まで培ってきたい部分は守りつつ、新しい教育法を取り入れることにしました。ひとつは医歯薬看護系に進む生徒が多いことから、新たに「医進コース」を新設、そしてiPadや電子黒板を取り入れた「ICT教育」にも取り組んでまいります。また、グローバルに活躍できる人材を育てるため、海外のネイティブスピーカーとの「オンライン英会話」も開始しました。さらに修学旅行においても、「社会で本物に触れてほしい」との考えから、1グループあたり3社程度の企業等見学を行うことを計画しています。国内外で生き生きと働く卒業生のお話を聞く中でさまざまな気づきや学びを得られるはず。これらの改革に共通するのは、自分で体験することを感じたことを、確かな学びとして深く刻み込むことができるという点です。筑紫女学園に脈々と伝わる独自の強みと今の時代に求められる要素のどちらも取り入れ、柔軟性を持ったバランスのいい人材に育ってくださることを願い、教職員一同で取り組んでまいります。

中学校
高等学校

生徒たちの志に 寄り添う新編成

筑紫女学園高等学校

副校長

梶木 正益

目まぐるしく変化する時代に合わせ 教育も柔軟に進化させて

令和の時代と歩みを共にするかのよう
に筑紫女学園中学校・高等学校におい
ても新しい教育が始まろうとしてい
ます。その背景にはグローバル化や
ICT化が進み、様変わりしていく社
会があります。将来的に、今ある職
業の半分以上がなくなるとい予想も
されていて、未来に対して不安な気持
ちを抱く人も多いかもしれませんが、
時代というのは常にこのようにして
進んできたのです。今起こっている
変化も決してネガティブに捉える必
要はありません。

しかしながら、松尾校長のビジョン
でも語られているように、従来通り
のとにかく知識を詰め込んでいく教
育では、変わりゆく時代に臨機応変
に対応できる人材が育たないと懸念
しております。そこで筑紫女学園が
今取り組んでいるいくつかの改革の
うちの「新コース編成」についてま
ずお話しします。

学年の3分の1以上が医療系へ 早い段階から学びを深める コースを新設

本高等学校の1学年の人数は、450
人前後です。そして、毎年学年の中
の3分の1から半

新コース 編成



分弱が医療系に進学しています(資料1)。

これらの実績に導かれるように、入
学時から医療系を目指して入ってくる
生徒も少なくありません。しかし、こ
れまではこうした進路を希望する生
徒たちのための特別なプログラムを
設けていませんでした。学年が進むに
つれ、特進クラスを設置し、国立・私
立の文理など、大学受験に特化した
授業に重点を置いてはきましたが、よ
り早い段階から目標に近づくための
学びが用意されている方が、意欲的
に取り組めるのではないかと、そう考
え、「医進コース」を新設することに
しました。

新コース編成で重視していることは、入

学時または早い段階から将来に向
けての志を意識させることです。高
校コースでは高校1年次から、中
高一貫コースでは中学3年次から
「医進コース」をつくり、同じ志を
持つ者同士が切磋琢磨できる環境
を作ります。進級のたびにクラス
替えを行い、常に最適化を図って
いきますが、その際も成績や習熟
度のみを基準にするのではなく、志
を基軸に編成していく考えです。
「医進コース」以外には、「国公立
大学コース(文・理)」「私立大
学コース(文・理)」があり、その
時々の各自の志望や志、習熟度を
総合的に判断して編成を行います。
どのクラスにも共通していえるの

(資料1)

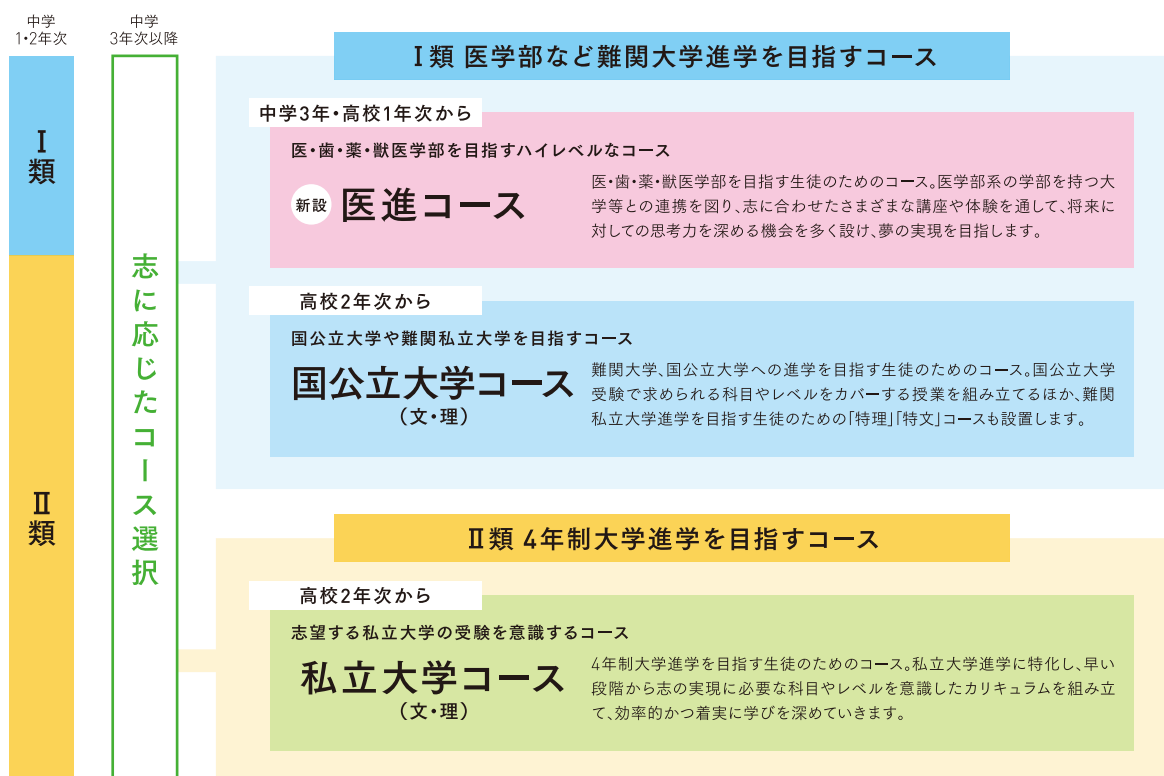
2019年度 筑紫女学園高等学校 在籍者数

	中高コース	高校コース	合 計
1 年	179	227	406
2 年	170	260	430
3 年	169	309	478
合 計	518	796	1,314

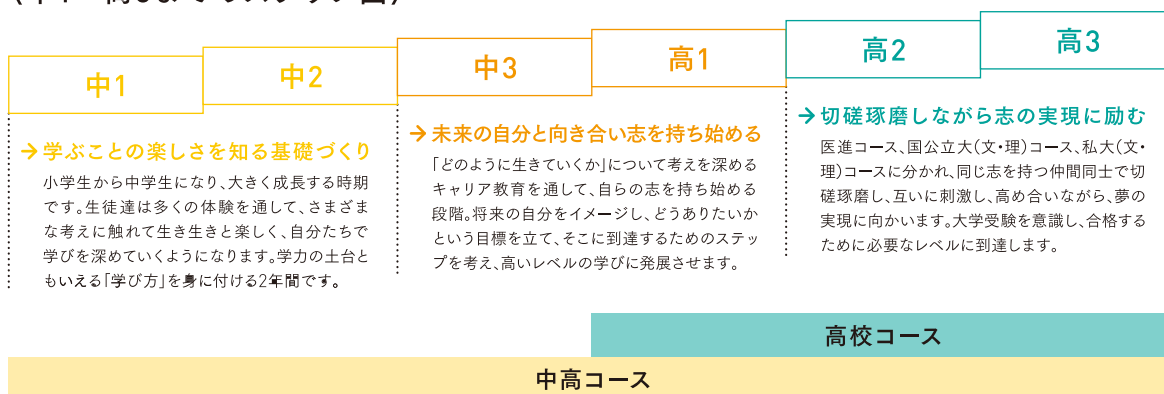
医・歯・薬・獣医・看護系大学合格者数

	2016年	2017年	2018年	2019年
医学科	17	11	22	13
歯学科	8	12	10	3
薬学科	73	80	59	41
獣医学科	1	3	2	7
看護学科	63	86	63	90
合 計	162	192	156	154

〈Ⅰ類、Ⅱ類のコース選択図〉



〈中1～高3までのステップ図〉



は、それぞれの将来に向けて必要な学びを効率良く得られるという点です。これまで通り、志望に合わせて授業科目や単位数等の違いがあるのに加え、「総合的な探究の時間(P.6)」においても将来に関するプログラムを厚くする予定で、「医進コース」の生徒には、早い段階から医療系に特化した学びを取り入れていく計画をしています。

新コース教育のキーワードは「速さより深さ」

従来の特進コースでは、とにかく大学受験に向けて速く、たくさん知識を詰め込む

という考えの下、朝は7時40分から0時限目を開始し、遅い時は8時限目、18時頃まで授業を行っていました。1週間合計すると40時間ほどになります。ここまで学校で時間とエネルギーを使ってしまうと、帰宅した後に学んだことを復習して振り返ったり、分からないところを理解するためにさらに学びを深めたりする余力がないという声もありました。従来のやり方でのメリットももちろんありますが、これからの時代はたくさんの知識を詰め込むよりは、その都度学ぶための姿勢や応用力を養うことに重点を置くため、授業進度、時間の長さよりも学びの深さに注力しようという方向で考えています。新設の

「医進コース」の授業時間は1週間で35時間程度となり、放課後の時間の使い方の幅が広がります。図書館で勉強したり、分からなかったところを先生に聞いたり、弱点を何度も反復して理解を深めたり、個々人に合わせた学び方ができるようになります。

高校2年次からクラスを融合し、互いに刺激し合える環境に

授業時間が少なくなり、学習する量が減って、必要なことが学べなくては意味がありません。そこで、電子黒板やiPadを使ったICT教育を取り入れ、これまでは1時間かかって

〈中高一貫コースのクラス編成イメージ〉

高3	Ⅰ類							Ⅱ類				
	医進	特理	理	理	特文	文	文	理	理	文	文	文
高2	Ⅰ類							Ⅱ類				
	医進	特理	理	理	特文	文	文	理	理	文	文	文
高1	中高コース				高校コース							
	Ⅰ類	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅰ類	Ⅰ類	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類
	医進				医進							
中3	中高コース											
	Ⅰ類	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅱ類								
	医進											
中2	中高コース											
	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類								
中1	中高コース											
	Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅱ類	Ⅱ類								

いた内容を30分で進められるように工夫するなど、授業の効率も上げていくための取組も同時に行っています。

それからもう1点、大きな変化として、これまでは高校コースと中高一貫コースの生徒が同じクラスになることはありませんでしたが、新コース編成においては、高校2年次から混合したクラス編成とします(令和2～4年度は段階的に実施します)。従来は、中高一貫コースの方が、進度が速いため、合流が難しい背景がありましたが、今後は速さより深さを意識した授業進行にして、高校2年次からであれば、十分追いつくことができます。同じ志を持った仲間と切磋琢磨しながら

受験勉強にいそむことは、刺激し、お互いを高め合うきっかけになるはずです。

高大連携で大学での学びがイメージできるように

それからこれまでも力を入れていた取り組みですが、高大連携にもますます注力していきます。このたび「医進コース」を新設するに当たって、本校の卒業生が多く進学している九州大学、佐賀大学、久留米大学、福岡大学等と連携を図り、それぞれの医療系の学部が、本校のために体験プログラムを用意してくれることが決まりました。連携先の大学

の中には、2019年夏に行うプログラムが定員20名に対し、60人も応募があるなど、早くも校内の関心の高さがうかがえました。こうした大学との交流は医療系だけでなく、今後他の学部にも広がっていく予定です。今年度は九州大学をはじめ、福岡女子大学、立命館アジア大学等を訪問しました。

新コース編成は、2020年春に入学してくる生徒たちから本格始動となりますが、すでに教育改革自体は始まっています。これまで以上に学生たちが伸び伸びと学びながら、自らの夢へと近づいていけるように全力でバックアップしていきたいと思います。

「総合的な探究の時間」とは

学習指導要領の改訂により、これまで行われてきた「総合的な学習の時間」は、2019年度から「総合的な探究の時間」に変更されました。この授業は基本的には週に1度行われるもので、生徒が主体的に課題を設定し、情報の収集や整理・分析をしてまとめるといった能力の育成を目的としたものです。具体的な探究課題は、環境や伝統・文化、キャリアや福祉・健康など、科目の枠に収まらない、将来的に役立つ社会を知るためのテーマが多く設定されています。筑紫女学園ではこれまでも学年それぞれのテーマを設定するなどして、積極的に取り組んできました。





ICTを生かし 効率の良い学びを



筑紫女学園中学校・高等学校
教諭(数学担当)

池田 正寿

記録の時間を思索の時間に 学習効率を向上させ、より深い学びへ

2020年春からの本格導入を見据えて、2019年春に入学した高校1年生の一部のクラスで電子黒板やiPadを使った授業を始めています。主な使い方としては、デジタル教科書を電子黒板に映し出し、画像や動画を用いた視覚に訴えかける授業を展開したり、生徒一人一人が自身のiPadに書き込んだ解答や意見を教員が一覧で把握し、注目すべき生徒の解答を瞬時に電子黒板に投影させて全員で確認することもできます。こ

れまでの板書を用いた一斉授業と異なり、電子黒板やiPadを導入した「ICT授業」なら板書を書き写さずとも、電子黒板を写真に撮ればノートが完成します。このように単純に記録する時間を削減し、きめ細やかな指導や思考に多くの時間を割けるようになるので学びの効率は大幅に向上するはずです。またこれまでは、教員が生徒たち全員のノートに書かれた解答や理解度まで把握することは難しい状況でしたが、「ICT授業」なら、授業中に起こっているさまざまなことを教員が俯瞰することができます。理解するためだけに時間を使うのではなく、理解できたかどうかという確認まで行い、できていなければさらに理解を深めさせていきます。現在は数学の授業など、一部の科目のみの展開ですが、今後は科目数も時間数も増やしていく予定です。

改革のハードルは低くないが うまく進めば授業の大革命も

実際、私が担当している数学の授業では、ある問いに対しての答えをグループ単位で考えさせています。一人一人の意見や解答をiPadに書き込ませたり、グループ全体でまとめて発表させます。その内容は前に出てきて板書しなくても、即時に電子黒板に映し出せます。時間が短縮できる分、生徒同士が意見を交わす時間を多く確保できます。

科目や内容によっては、個で思索を深める時間にも必要ですが、違う視点や考えを持った他人と意見を交わし合うことで、視野を広げたり、多様性を受け入れる経験ができれば、これから生き抜く力を養うことにつながると思っています。

物心がついた頃からスマートフォンやタブレットに触れて育ってきた生徒たちは「ICT授業」にもすぐ慣れます。反面、教員はこれまで培ってきた経験や常識を覆さなくては



いけない部分もあるので改革は少しずつ着実に進めています。電子黒板やiPadの利点を最大限に生かし、生徒の理解を深め、意欲を引き出せるような授業プランを考えるのは一朝一夕にできる仕事ではありませんが、これがうまく進めば、これまでにない授業革命が起こせると考えています。変わりゆく時代で“当たり前”になっていくであろう「ICT教育」を自分たちのものにしていくべく、教職員一同励んでまいります。

「ICT教育」を受けて

高等学校1年 二瓶さん・上田さん(左から)



池田：「ICT授業」を受けた印象はどうですか？

上田：iPadと電子黒板を使う授業は、クラスメイトの発表が板書することなく瞬時に表示されるので、進行がとてもスムーズで、いい集中が続きます。最終的に画面に表示された模範解答や重要箇所も書き写す時間がいらず、写真に撮ってノートに貼り付けるだけなので、考えることにしっかり時間が使えます。

二瓶：私はネット学習の実験校に指定された

小学校に通っていたのでiPadを導入した授業は初めてではなかったのですが、筑女で採用されているソフトや先生方の授業の組み立



ては、理解が深まりやすいという印象です。

池田：今後期待する部分はありますか？

上田：iPadは手書きしたりキーボードで文字を打つこともできるので、全科目の教科書やノートをiPadに集約したいです。通学時の荷物が軽減でき、見たいときに全データが閲覧できることで学習効率も上がりそうです。



二瓶：自分が学習したポートフォリオがiPadにまとまっていくと学習意欲が高まりそうです。苦手なところや間違った箇所をAIが把握して、私のためにカスタマイズされた最適な学習プランを用意してくれるソフトが導入されているので、不安や焦りを感じずに自宅学習を進められそうです。

ICT教育のポイント

AIやICTを授業中や自宅学習に取り入れることでスピーディーで分かりやすい知識の獲得を促し、生徒たちの学習意欲の向上、コミュニケーションツールとしての効果も期待できそうです。

Point 1



新入生全員にiPadを配布

2020年春に入学する新入生から順次iPadを配布する予定です。画像や動画を活用した電子黒板との相乗効果が期待でき、スピーディーでこれまで以上に分かりやすい授業を行うことで、生徒たちの学習意欲の向上を図ることができます。またテキストや資料集などをあらかじめiPadにダウンロードしておくことで通学時の荷物を軽量化したり、ノートや気付きもiPadに集約することでいつでもどこでも閲覧することが可能になります。

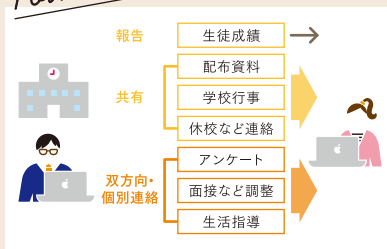
Point 2



学習支援ソフトの活用

授業中は、生徒一人一人のiPadに書かれた解答を教員が一括把握したり、模範的な解答をした生徒のiPad画面を電子黒板に投影するなど、iPadならではのソフトを活用した組み立てで進めていくことができます。また自宅学習をサポートするソフトも導入し、間違えた問題はAIに苦手分野として記録が残る、できるようになるまで反復するなど個々人に合わせた学習(アダプティブ・ラーニング)が可能になり、学力アップの背中を押します。

Point 3



コミュニケーションツールとしても活躍

生徒たちが授業と自宅学習でどれだけ努力し、どんな部分が苦手なのかなど、履歴やデータをストックしていくだけでなく、教員がそれを確認し、コメントやアドバイスを送るなど、双方向でのやり取りも可能です。また保護者ともつながることができるので、学校からのお知らせや生徒のポートフォリオを共有することができます。将来的には高校生のポートフォリオからのWeb出願(九州大学などが導入)にも活用していく予定です。



「使える」喜びを自信に さらなる意欲に



筑紫女学園中学校・高等学校
教諭(英語担当)

田中 香

「聞く」「話す」力の強化を目指し 「オンライン英会話」を導入

現在の学校英語教育の目標は、「読む」「聞く」「書く」「話す」の「4技能」を総合的に学び、英語によるコミュニケーション能力を育成することとされています。2021年度からの「大学入学共通テスト」では「リスニング」の比重が従来より高くなり、民間の4技能型資格・検定試験の利用も予定されています。本校でも「聞く」「話す」力を強化するため、新しい試みを始めました。

英語を学ぶ目的は人それぞれですが、外

国語を習得するには時間と努力が必要です。生徒にとって英語が「学ばなくてはいけない」ではなく、「使えるようになりたい」と思えることが学習意欲と成長スピードを促進します。そのためには英語を日常的に話している人と直接英語を使ってコミュニケーションをとる体験が最も有効と考え、「オンライン英会話」授業の導入を決定しました。

授業中の25分間、英語話者と1対1で英語を使って話し続けます。画面越しにお互いの顔を見て話しながら進行し、画面上のテキストに直接書き込んでのやり取りもできます。



中学生は基本的な会話中心のプログラムで、高校生は英検の2次試験である面接試験の形式に沿った内容にしています。レベルは各自の目標に合わせて設定でき、テストに直接役に立つと生徒たちにも好評です。毎回講師が変わるのも「オンライン英会話」ならではの強みです。講師は、外国語としての英語を教える資格を持ったフィリピン人です。生徒たちが将来的にグローバル言

語となった英語を使ってやり取りするのは、ネイティブスピーカーよりも、英語を公用語や第二言語として話す人たちの方が多くすることが予想されますし、英語の多様性に触れることにもつながっています。

達成感が学びの原動力 授業をきっかけに 自宅学習にもいい影響を

高校1年生を対象に授業後にアンケートを実施したところ、レッスンに対する満足度が高いと答えた生徒は回答者の7割以上でした。また達成感については36%が「高い」「最高」と答え、44%が「どちらともいえない」と回答しました。実際に英語を使ってみて、思うように話せなかった悔しさ、「次はもっとうまく話したい」という気持ちはまさにこちらが求めるところであり、その後の学習意欲につながると考えています。

最初は見知らぬ外国人と話すという環境に緊張していた生徒も、時間や回数を重ねるごとに慣れ、終わったときにはやり切ったという表情を見せています。この授業をきっかけに自宅での英語学習でももっと積極的に音声を使うようになることを期待しています。

「オンライン英会話」を受けて

高等学校1年 山本さん・石田さん(左から)



田中:「オンライン英会話」を受けた印象はどうですか?

石田:受ける前は、会ったこともない海外の方とコミュニケーションが取れるのか、また教科書みたいに事前に内容が分かっているわけではないので、臨機応変に対応できるかという部分で不安でした。でも、だからこそこれまでの自分の英語力が明白になるので苦手なところや足りないところがよく分かります。

山本:普段外国の方と話す機会がないの



で、即応力を試される点が面白いです。発音についても細かく教えてもらえて、私ができるまで丁寧に指導してくださるのでしっかり

理解できました。

田中:自身の英語学習への影響はありそうですか?



山本:授業で身に付けた文法や単語が本当に理解できているか確認できるので、足りなかった部分を確認し、さらに復習できそうです。今後海外に行った時に、現地の人々と同じスピードで話せるようになりたいので、「オンライン英会話」での経験をきっかけにさらにリスニングやスピーキングに力を入れたいです。

石田:もっとスムーズに話せるようになりたいと強く感じました。英検を想定したアドバイスも的確です。大学受験で求められる語彙量も足りないと思うので、普段の授業にもより積極的に臨みたいと奮起しました。

英語教育のポイント

オンライン英会話等、2021年度以降の大学受験にも対応したプログラムを取り入れることで生徒たちの学びをより広く、より深くサポートできるよう、新しい試みを行っています。

Point 1



海外の人と話しながら学べる

オンライン英会話の授業では、海外の人とリアルタイムに会話をしながら学んでいくことができます。学年や生徒のレベルに合わせたプログラムを通じて、正しい発音の反復トレーニングや自分に足りない部分のアドバイスなど、自主学習では得られない学びや気づきが期待できます。グローバル化が進む社会で外国人と話す経験は確かな財産になり、物怖じせずにコミュニケーションをとる素地を築くことが期待できます。

Point 2



大学受験や英検対策もしっかり

2021年度以降の「大学入学共通テスト」では「リーディング」と「リスニング」の配点比率が1:1になり、より実用的な英語力が重要視される流れになっています。また民間の英語の資格・検定試験を活用した技能評価もスタートします。生徒たちは英検等の受験も視野に入れ、「聞く」「話す」力を強化する対策をしていく必要があります。日々の授業やオンライン英会話を通して実力アップへの道筋が見えてくるはずです。

Point 3



海外での研修でさらに学びを深めて

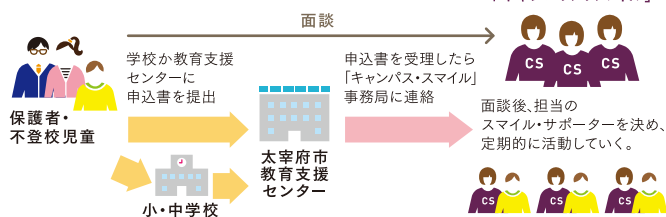
本校の修学旅行は「多様性を受け入れる社会のあり方」を学ぶことを目的とし、海外・国内からコースを選択できます。海外での研修では日頃学んできた英語を使って交流する体験を通して、自分の今の実力や英語をコミュニケーションツールとして活用することの意義を体感することができます。修学旅行の他にも12日間の「英国研修」や校内で実施する「エンパワーメントプログラム」など、希望参加制の研修プログラムも準備しています。

筑紫女学園大学と太宰府市教育委員会が連携して太宰府市内の小・中学生に「安心」をお届けするキャンパス・スマイル事業を開始しました。



活動の手順

- 1 不登校児童の保護者は、子どもの状況を踏まえ、申込書を学校または太宰府市教育支援センターに提出。
- 2 教育支援センターは、申込書を受理後、筑紫女学園大学内チーム「キャンパス・スマイル」に連絡。
- 3 申込者と面談を行い、子どもの活動希望や実態に合わせ、担当するスマイル・サポーターを決定。
- 4 事前に決めた活動日に子どもたちが大学を訪れ、スマイル・サポーターとともに活動。



文部科学省の調査(2017年度)によれば、病気や経済的な理由を除いて年間30日以上欠席した不登校児童生徒数は、全国で14万4031人(小学生で3万5032人、中学生で10万8999人)に上り、ここ数年増加傾向にあることが報告されています。地元の太宰府市においても同様に増加傾向にあり、不登校児童生徒への支援が急務となっています。このような背景もあり、2019年春より筑紫女学園大学では、太宰府市教育委員会と協働で不登校の子どもの居場所づくりを実施しています。その取り組みが「キャンパス・ス

マイル事業」です。この事業は、学校に行きたいけど行けないなどの不登校の状況にある子どもたちに対して、安心して過ごせる“居場所”を大学キャンパス内につくり、子どもたちの自信とエネルギーの回復を目指すものです。現在、ボランティアで不登校の子どもたちに寄り添う学生スタッフ(スマイル・サポーター)の養成講座が行われ、子どもたちの受け入れもスタートしました。

今後、太宰府市内の多くの子どもが利用できるよう、太宰府市教育委員会や小中学校と連携しながら、本事業の充実を図っていきます。



スマイル・サポーターとは

筑紫女学園大学内に設けられたチーム「キャンパス・スマイル」でボランティアスタッフとして活動することを志願した学生たちのこと。サポーターたちは、養成講座を受講し、市の教育委員会や大学担当者から不登校の現状や心構え、子どもたちとの接し方の基礎を学んで活動に臨む。

参加学生の声



人間科学部人間科学科1年
佐藤 奈々子

私が中学生の頃、同級生の男の子が不登校になりました。担任の先生や私たちクラスメートは彼が学校に行きやすい環境を整えようとしていましたが、彼に対して強く当たる先生もいる等、全員で彼が学校へ行きやすい環境をつくることはできていませんでした。その時に不登校の問題は生徒と先生と学校の連携が取れていないと解決しないのではと感じるようになりました。このような経験から不登校の

子の気持ちを少しでも理解できればと思い、キャンパス・スマイルに参加しました。

スマイルサポーターとして私が初めて担当となった中学生の女の子は、初めてキャンパススマイルに参加する日に大学へは来ませんでした。女の子のお母さんによると「どうやって誘ったらいいのかわからないし、日によって気分が変わりやすい」ということでした。その子にとって外に出るということが大きな壁であることや家族も接し方がわからないという課題から、私たちが体制や準備を整えることに加え、女の子自身が勇気を出して一歩踏み出すことの大切さに気づきました。

その後、女の子が勇気を出してキャンパス・スマイルに初めて参加してくれました。私とその子は1時間近く会話をし、最後に「次は勉強道具持ってきていい？」という言葉聞くことができたときは、一歩踏み出してよかったと思いました。また、私たちが接することで女の子の自信をなくしてしまうことや心を閉ざしてしまうことがあるかもしれないと緊張していた私にとって、また来たいと思ってもらったことはとてもうれしかったです。女の子は将来

の夢があり、その夢を叶えるために勉強をしたいと話してくれました。キャンパス・スマイルの目的に「社会的自立」があります。これは不登校の問題は心の問題ではなく、進路の問題として捉えることが大事という考えです。これからも女の子が勉強したいという思いを大切に、私たちが最大限寄り添っていきたいと思います。

私は将来子どもに関わる職に就きたいと思っているので、この活動を通して多くの経験をして、私自身も成長していきたいと思います。そして先生や友達と協力し、意見交換をしながらキャンパス・スマイルの最大の目的である「居場所づくり」に貢献できればと思います。



「遠の朝廷」と詠われた 「大宰府」が 「令和」の里になりました



筑紫女学園大学
文学部 日本語・日本文学科 教授

小野 望

2019年5月、「令和」の時代が始まりました。
1300年を超える日本の年号の歴史の中で、文字が意識的に日本の古典から選ばれたのは、おそらく初めてのことです。その典拠は『万葉集』でした。しかも、歌の舞台は筑紫の大宰府。学園にもなじみの深い太宰府にゆかりの古典文学が、新たな時代を象徴することとなりました。

『万葉集』には、四千余りの和歌(やまとことばの歌)が収められています。その歌の中には、作家事情などの説明文が付けられたものがあり、これらは漢文で書かれました。今回採られたのは、「梅花歌三十二首」に添えられた漢文の序文でした。

天平二年(730)の正月十三日、帥老(そちの



おゆ)大伴旅人(おおとものたびと)の邸に山上憶良(やまのうえのおくら)らの官人が集まり、梅見の宴が催されました。序文の冒頭でそのことを述べた後、「于時初春令月 気淑風和」と、春の良き日の穏やかさを描写します。続いて、「梅の艶やかさと蘭の香り」「春生まれの蝶と帰って行く冬の雁」などの対で春の風情を描き、最後に、

今日この庭に集うて盃を交わし胸襟を開くと、
心は自然に放たれ、快く満ち足りる。

このような情趣は、詩文を以てしか言い表すことはできない。

中国の古典にも落梅が多く描かれた。我々もこの園の梅をうたおうではないか。

概略このような内容で、「さあ、私たちの歌をうたいましょう」と呼びかけて結んでいます。

梅は舶載の植物で、当時はまだ珍しいものでした。都から遠く離れた大宰府ですが、外交・行政・文化の拠点として、多くの知識人が集まる地でもありました。中国の圧倒的な文化に触発されながらも、日本の風土で育まれたことばや文化に誇りを持つ人々の姿が目につくようです。

『万葉集』の完成は、旅人の次の世代のこととなりますが、旅人や憶良が大宰府で同じ時を過ごしたことも、その成立に大きな影響を及ぼしたことでしょう。

今、この太宰府の地で日本文学を学ぶ。その幸せが改めて感じられます。

*律令制下の官銜を表す場合は「大宰府」と表記しています。

2019年3月、飛翔会館食堂& 7号館レストランがリニューアル!!

学生にとってより過ごしやすいキャンパスを創出するため、「魅力的なキャンパス創出事業」の一環として大学施設(食堂や売店)をリニューアルし、2019年3月より新体制で運営をスタートしました。

スローフードの精神で手作りにこだわり、素材はもちろんのこと、調味料に至るまで食品添加物が極力含まれないものを使用し、安心安全な料理を提供することで、食育にも配慮しながら健康な体作りを目指しています。

7号館レストランは、内装をシックな色にアレンジし、チェアテーブルを増設・新調しました。観葉植物を多用し、オーニングテラス

のあるイタリアンレストランのイメージです。飛翔会館食堂は、展望カウンター、R型ソファを設置し、開放的で、明るい雰囲気です。Wi-Fiや充電できる施設を完備し、学生の皆さんにより快適に利用してもらえることを願っています。2019年9月には4号館カフェを新たにオープン予定です。

食堂やカフェは外部の方々にもご利用いただけるので、社会や地域とつながる拠点としてもより一層認知されることを期待しています。





●園舎・園庭



●たんぼ教室



●こどもトイレ



●陶芸室(電気窯)



●幼稚園正面玄関



●2Fウッドデッキ



●1F廊下



●遊戯室



●スカイガーデン

幼稚園新園舎が完成

3月に竣工した新園舎。

新しい園舎には、目まぐるしく変わり、
IT化している時代背景や将来のことを見越して
新たな設備を整えました。
その中でも主なものをご紹介します。

年長の3クラスに設置したプロジェクターは、新年度に入って、早速、園生活の中で活用されています。子どもたちに物事を伝えるときには、聴くだけでなく実際に目で見ること訴えることも大切です。園歌「みんながたからもの」をはじめ、新しい歌を歌うときに歌詞を映し出したり、園庭で見つけた虫の名前を調べたりする時に、プロジェクターを使って、短時間で一気に情報共有ができるようになったことで、子どもたちは今までよりも探求心が増したように思います。

また、遊戯室には大型スクリーンが設置され、全学年で集まった時には、絵本や紙芝居等を映し出すことができるようになりました。年少クラスの子どもたちでも、今まで以上に集中して静かに話を聞くことができるようになり、大きな変化が見られています。

ほかにも遊戯室には、電子黒板が設置され、年少クラスや年中クラスの子どもたちも必要に応じて利用することができるようにしています。



6月に行った年長クラスの味噌づくりでは、作り方の手順を大きく映し出してとても分かりやすく伝えられていたので、子どもたちや保護者からも好評でした。

時代の流れとともに、幼稚園もIT化の波がやってきていますが、やはり最優先すべきは子どもの心と体に残る「実体験」だという思いに変わりはありません。子どもたちの主体性を大切に、実体験は今までと変わらず大切にしつつ、今回新たに導入されたこのIT設備が、園児の成長過程にどこまでが必要なのかをきちんと見極めながら、園生活でのさまざまな実体験とつなげていきたいと考えています。



宮川 結衣 先生

最初は、何でもアナログでやってきた私たちの方に戸惑いがありましたが、いざ使ってみると活動や行事に対するイメージが湧きやすくなったようで、子どもたちも集中して見たり聴いたりしています。

また、自作の資料などは、すぐにシェアしたり、訂正したりできるので、作業の効率化にもつながっているように思います。こういった機器を最大限に活用するところと今まで通りの実体験のバランスをきちんと取りながら、保育でも必要に応じて活用していきたいと思っています。



「筑女プラン2023」の進捗ご報告

2018年度の単年度目標及び最終年度(2022年度)の目標に対する達成状況について

新たな中期計画「筑女プラン2023」が2018年6月からスタートしたことについて、学園報第97号にてお知らせいたしましたが、2018年度の単年度目標及び最終年度(2022年度)の目標に対する達成状況を以下の通りご報告いたします。

(%)

	学園全体	大学	中学校・高等学校	附属幼稚園	法人本部事務局
単年度目標に対する達成率	63.5	61.3	49.5	77.5	65.7
最終年度目標に対する達成率	34.7	25.5	27.6	54.4	31.4

【大学】●主な取り組み

①大学運営組織の改編

「教職協働体制の強化と推進」、「役割と責任の明確化」、「組織の機能性と柔軟性の確保」及び「意思決定機構の整備」を目的に、2018年6月に教学組織を全面的に改編、スリム化するとともに、事務組織においても、これまでの13課1室体制から3部1室8班体制に再編しました。

②臨床心理センターの開設・運営

公認心理師プログラム(人間科学部)及び臨床心理学コース(大学院)の設置に伴う附属機関として、2018年10月に「筑紫女学園大学臨床心理センター」(太宰府市五条駅前)を開設しました。同センターでは、心理的又は行動的に生活上の支援を要する方々に対して臨床心理相談、支援活動を行い、地域社会にも貢献します。

【中学校・高等学校】●主な取り組み

①電子黒板の完全普及

夏季休業期間中に電子黒板を中1・高1全クラスに設置をしました。教員からは授業の工夫改善ができる、生徒からはわかりやすくなった、と高い評価を得ています。2019年度は電子黒板を全クラスに設置を予定しています。

②先進的英語教育プログラムの導入

新学習指導要領と大学入試改革に対応するために、英語4技能学習[「聞く」「話す」「読む」「書く」]のうち、特に「話す」の強化に向けて英語プログラム「オンライン英会話」を導入しました。2019年度は、「オンライン英会話」を正課授業に組み込む予定です。

【附属幼稚園】●主な取り組み

①教育指導計画書の作成

学年主任を中心に、新幼稚園教育要領による10の視点や内容と照らし合わせた教育実践を行い、新たな年間指導計画を策定しました。

②子どもの学びを高めるICT教育の導入

新園舎において遊戯室に電子黒板及び大型プロジェクター、年長3教室に液晶のプロジェクターを設置しました。

【法人本部事務局】●主な取り組み

①財政収支の健全化

財政健全化推進委員会を設置し、学園全体及び各学校の財政面から見た現状と課題を洗い出し、その中間報告を教職員へ周知しました。その後、給与等に関する具体的な見直しについて検討を進め、財政健全化推進委員会第一次報告書を策定いたしました。

法 海

ここに響くことは__23

グーは人を殴る手 パーは人を撫でる手
グーはパーに勝てない 手と手を合わせて合掌

相手に、よりダメージを与えるために、力を込めて拳を握ってグーで殴ります。時には激しい言葉を伴いながら、その時の殴る方の顔は、鬼のように恐ろしい形相をしていることでしょう。心の中もきっと、怒りや嫉妬の炎で埋め尽くされているのだと思います。逆にパーで頭を撫でるときは、やさしくふんわりと、いたわりのこもった言葉を伴って、笑顔で撫でることでしょう。心の中も穏やかで、相手を思いやる慈悲の心に満ちているのでしょう。

さらにそのパーの手とパーの手が合わさって合掌の姿勢になるのです。日本では仏様を礼拝する時や「いただきます」の時に合掌しますが、敬いの気持ちや、感謝の気持ちを表す姿勢です。お釈迦様(釈尊)のお生まれになったインドでは、その合掌の姿勢で「ナマステ」と言います。右手が清らかな手、左手が汚い手と考えられていますが、その清浄と不浄のどちらをも持ち合わせた、「私」全体で「あなたを敬います。あなたを信用します。」

ということです。

さて、今の世の中を眺めてみると、自分の利益のため、また自分の怒りにまかせて、他者や子ども、あるいは仲間を傷つけたり、だましたりということが毎日のように起きています。それは「グー」の世界です。しかしながらまた、他者の苦しみに寄り添って災害復興のためのボランティア活動や毎朝子ども達の通学のための交通安全見守り活動をしている人もいます。それは「パー」の世界です。

仏教では「すべての生きとし生けるものはつながっている」と縁起の教えを説いています。確かに衣食住どれをとっても私ひとりです。手に入れたものはありません。だとすれば、恩を返し、恩を送っていくためにも、「パー」の世界、「合掌」の世界を、私からみんなに広げて行こうとすることが大切な生き方ではないでしょうか。



2018年度(平成30年度)学校法人筑紫女学園決算について

1

事業活動収支計算書について

事業活動収支計算書は、当該会計年度の「教育活動収支」、「教育活動外収支」及び「特別収支」の3分類で構成され、収支のバランスを表すもので、企業では損益計算書に相当するものです。特に、基本金組入前当年度収支差額は、当年度の経営状況を見る指標として重要なもので、マイナスが大きくなるほど経営が窮迫します。事業活動収入計は51億7,093万円余、一方、支出計は52億7,054万円余となり、基本金組入前収支差額9,960万円余の支出超過となりました。なお基本金組入額には、大学の第2号基本金の積立額12億5,000万円が含まれています。

2

資金収支計算書について

資金収支計算書は、当該会計年度の資金の流れ及び収入・支出のてん末を明らかにするもので、企業会計でいえばキャッシュフロー計算書に相当するものです。資金収入総額は、53億5,241万円余となり、これに対して資金支出総額は、57億5,879万円余で、資金収支差額は、4億638万円余の支出超過となりました。この結果、翌年度繰越支払資金は、24億8,679万円余となりました。

3

貸借対照表について

2018年度の貸借対照表は、2019年3月31日現在の財政状態を示すものです。総資産は、234億6,071万円で前年度末と比較して6,046万円減少しております。学園の金融資産(現金預金及び有価証券等)の残高は、前年度121億4,659万円から、2018年度は116億284万円となり、5億4,375万円減少しております。一方、負債総額は29億5,943万円で前年度に比べ3,915万円増加しています。その結果、今年度末の純資産(資産総額－負債総額)は、205億128万円で、前年度末より9,961万円減少しております。また、基本金は233億4,645万円で、前年度に比べ5億9,066万円の増加となっております。

2 資金収支計算書 2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	3,769,564	人 件 費 支 出	3,488,777
手 数 料 収 入	63,913	教育研究経費支出	923,661
寄 付 金 収 入	35,609	管 理 経 費 支 出	298,888
補 助 金 収 入	1,113,743	借入金等利息支出	280
資 産 売 却 収 入	0	借入金等返済支出	13,500
付随事業・収益事業収入	1,101	施 設 関 係 支 出	759,840
受取利息・配当金収入	78,226	設 備 関 係 支 出	183,633
雑 収 入	171,074	資 産 運 用 支 出	71,004
借 入 金 等 収 入	0	そ の 他 の 支 出	264,362
前 受 金 収 入	325,011	[予 備 費]	
そ の 他 の 収 入	344,105	資金支出調整勘定	▲245,146
資金収入調整勘定	▲549,932	翌年度繰越支払資金	2,486,794
前年度繰越支払資金	2,893,179		
収 入 の 部 合 計	8,245,593	支 出 の 部 合 計	8,245,593

1 事業活動収支計算書 2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位：千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	
	科 目	金 額
	学 生 生 徒 等 納 付 金	3,769,564
	手 数 料	63,913
	寄 付 金	29,295
	経 常 費 等 補 助 金	986,199
	付 随 事 業 収 入	1,101
	雑 収 入	100,652
	教 育 活 動 収 入 計	4,950,724
	事業活動支出の部	
	科 目	金 額
	人 件 費	3,471,020
	教 育 研 究 経 費	1,335,234
	管 理 経 費	377,243
	徴 収 不 能 額 等	0
	教 育 活 動 支 出 計	5,183,497
	教 育 活 動 収 支 差 額	▲232,773

教育活動外収支	事業活動収入の部	
	科 目	金 額
	受 取 利 息 ・ 配 当 金	78,226
	そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0
	教 育 活 動 外 収 入 計	78,226
	事業活動支出の部	
	科 目	金 額
	借 入 金 等 利 息	280
	そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0
	教 育 活 動 外 支 出 計	280
	教 育 活 動 外 収 支 差 額	77,946
	経 常 収 支 差 額	▲154,827

特別収支	事業活動収入の部	
	科 目	金 額
	資 産 売 却 差 額	10
	そ の 他 の 特 別 収 入	141,977
	特 別 収 入 計	141,987
	事業活動支出の部	
	科 目	金 額
	資 産 処 分 差 額	86,729
	そ の 他 の 特 別 支 出	39
	特 別 支 出 計	86,768
	特 別 収 支 差 額	55,219

科 目	金 額	科 目	金 額
(予備費)		(参考)	
基本金組入前当年度収支差額	▲99,608	事業活動収入計	5,170,937
基本金組入額合計	▲646,706	事業活動支出計	5,270,545
当年度収支差額	▲746,314		
前年度繰越収支差額	▲2,154,898		
基本金取崩額	56,050		
翌年度繰越収支差額	▲2,845,162		

3 貸借対照表 2019年3月31日

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	20,743,777	固 定 負 債	2,081,768
有 形 固 定 資 産	11,495,234	流 動 負 債	877,657
特 定 資 産	9,107,048	負 債 の 部 合 計	2,959,425
そ の 他 の 固 定 資 産	141,495	純資産の部	
流 動 資 産	2,716,932	基 本 金	23,346,446
		第1号基本金	21,368,110
		第2号基本金	1,250,000
		第3号基本金	399,336
		第4号基本金	329,000
		繰 越 収 支 差 額	▲2,845,162
		純 資 産 の 部 合 計	20,501,284
資 産 の 部 合 計	23,460,709	負債および純資産の部合計	23,460,709

寄付に関する報告とお知らせ

日ごろから、本学園の教育振興のためにご支援・ご協力を賜り、深く感謝しております。
本号では2019年2月1日～2019年8月31日までに寄付申込みいただいた皆様のご芳名を掲載させていただきます。

寄 付(順不同)

以下のとおり、ご寄付・ご寄贈をいただきました。誌上、お礼とご報告をいたします。

●寄付金

リフォームセンターつかもと

代表・塚本 明美 様

金額 100,000円

(筑紫女学園大学のネパール復興教育支援プロジェクト支援金として)

筑紫女学園高等学校 筑紫会 様

金額 3,652,020円

(部活動コーチ謝礼・交通費として)

金額 1,500,000円

(図書費購入補助として)

筑紫女学園中学校 筑紫会 様

金額 1,236,860円

(部活動コーチ謝礼・交通費として)

金額 1,500,000円

(図書費購入補助として)

筑紫女学園後援会

会長・金子 護 様

金額 8,180,830円

(部活動補助・芸術鑑賞補助として)

金額 2,700,000円

(図書費購入補助として)

筑女ボランティアネット

代表・栗山 俊之 様

金額 600,000円

(東日本大震災ボランティア研修に対する支援金として)

筑紫女学園大学 連携推進部

ボランティア活動支援センター

金額 292,780円

(筑紫女学園大学の国内ボランティア活動の支援金として)

金額 77,984円

(筑紫女学園大学のネパール復興教育支援プロジェクト支援金として)

田中 俊治 様

金額 50,000円

(筑紫女学園高等学校の表千家茶道部の活動支援として)

田中 秀吉 様

金額 30,000円

(筑紫女学園大学の子供応援グループ「LYKKE」の活動支援として)

つくしライオンズクラブ

第57期会長・中川 康隆 様

金額 104,142円

(筑紫女学園大学のネパール復興教育支援プロジェクト支援金として)

西方寺 様

金額 10,000円

(東日本大震災ボランティア研修に対する支援金として)

筑紫女学園大学同窓会 紫友会 様

金額 200,000円

(筑紫女学園大学の国内ボランティア活動の支援金として)

金額 100,000円

(筑紫女学園大学のネパール復興教育支援プロジェクト支援金として)

筑紫女学園大学後援会

会長・橋口 美香 様

金額 1,000,000円

(大学の教育研究費の補助として)

金額 1,850,000円

(新入生オリエンテーション補助として)

金額 5,000,000円

(スクールバス運営費補助として)

金額 3,600,000円

(魅力ある太宰府キャンパス創出のための「カフェ」新設への補助費として)

金額 400,000円

(聖歌隊用オルガン購入の補助として)

合同会社 対馬自然写真研究所 様

金額 300,000円

(大学現代社会学部 佐々木 浩教授 哺乳類研究支援金として)

●寄贈

■中学校・高等学校へ

ワイソング 聖子 様

・琴 一張

■幼稚園へ

筑紫女学園大学同窓会 紫友会 様

・アップライトピアノK-200 1台

■幼稚園へ

附属幼稚園保護者会

会長・河野 衣純 様

・園歌『みんながたからもの』 1曲 ・園旗および園旗スタンド 1式

・遊戯室ステージ緞帳

寄付に関するお問い合わせ先

学校法人筑紫女学園 法人本部事務局総務部
〒818-0192福岡県太宰府市石坂2-12-1

TEL 092-925-9918 FAX 092-925-8319

人事に関してのお知らせ

理事会・評議員会

■就任 (令和元年6月1日付)

●理事・評議員

●評議員

●監事

佐藤 尚文

桐島 薫子

田中 正人

添島 浩

■退任 (令和元年5月31日付)

●理事・評議員

●監事

貫 正義

井上 雄介

ご支援いただいた皆様からのご寄付の活用事例についてご紹介させていただきます。

Report 1

ネパール大地震 復興教育支援プロジェクト

2015年のネパール大震災発生後に発足したプロジェクトで、2019年は2月15日～27日に9名の希望学生がネパールを訪問しております。大地震から復興するためには「子どもたちの教育」に焦点を当てた中・長期的な「教育支援」が最も必要であると考えており、学ぶ環境が失われたネパールの多くの子どもたちへの支援として、日本から持参した文房具を手渡したり、倒壊した校舎の再建に取り組んでいます。



Report 2

東日本大震災 復興支援ボランティア

2011年の東日本大震災発生直後から、義援金(募金)活動を始め、年に2回の復興支援ボランティア活動を全学挙げて取り組んでおります。2019年も3月8日～12日に10名、8月30日～9月3日に15名が福島県、宮城県、岩手県を訪問して、被災者の方々に梅ヶ枝餅や福岡の郷土料理を振る舞うなど、交流を図っています。震災から8年、ハード面の復興は進んでいるようですが、地域コミュニティや一人一人の復興にはまだまだ時間と支援が必要です。



Report 3

幼稚園園歌制作

幼稚園では、園歌「みんながたからもの」を製作しました。学園の校歌はありましたが、園児にも理解できる優しい、幼稚園独自の曲をつくりたいという園長たつの願いがきっかけになり、作詞家の松井五郎氏と卒園児・在園児の保護者であり歌手の池上ケイ氏にご協力をいただき、園歌が完成しました。園歌がつけられてから、卒園式などの幼稚園の様々なイベントで歌われており、園児たちみんなでこれからも大切に歌い継いでいきます。



♪ こちらのURLから園歌を聴くことができます。♪
♪ https://www.youtube.com/watch?v=9_Dr_P6Maos



筑紫女学園では教育制度の充実、教育環境の整備などを行い、より学生・生徒・園児の支援体制を確かなものにしてまいります。その一助として本学園の教育活動にご理解、ご賛同いただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020(令和2)年度 入学試験要項

学校名	学部・学科・専攻・コース	定員・募集人員	入学試験の種類		願書受付期間	試験日	合格発表日	
大学院	【人間科学研究科】	10名	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試 学内進学入試	2期	2020年 2月 3日(月)～ 2月12日(水)	2020年 2月18日(火)	2020年 2月21日(金)	
大 学	【文学部】 日本語・日本文学科 英語学科 アジア文化学科	90名 100名 70名	CJアドミッション・ポリシー入試		2019年 9月27日(金)～10月 4日(金)	2019年10月13日(日)	2019年10月18日(金)	
			指定校推薦入試		2019年10月29日(火)～11月 4日(月)	2019年11月10日(日)	2019年11月19日(火)	
			公募推薦入試A・B		2019年11月29日(金)～12月 9日(月)	2019年12月15日(日)	2019年12月20日(金)	
			自己推薦入試	1期	2019年11月29日(金)～12月 9日(月)	2019年12月14日(土)	2019年12月20日(金)	
	2期	2020年 2月25日(火)～ 3月 5日(木)		2020年 3月10日(火)	2020年 3月13日(金)			
	【人間科学部】 人間科学科心理・社会福祉専攻 発達臨床心理コース 社会福祉コース 人間科学科初等教育・保育専攻 初等教育コース 幼児保育コース	70名 60名	併設校推薦入試A		2019年10月29日(火)～11月 4日(月)	2019年11月10日(日)	2019年11月19日(火)	
			併設校推薦入試B		2019年11月29日(金)～12月 9日(月)	2019年12月15日(日)	2019年12月20日(金)	
			前期入試		2020年 1月 6日(月)～ 1月22日(水)	2020年 1月31日(金)	2020年 2月15日(土)	
			センタープラス型入試		2020年 1月 6日(月)～ 1月22日(水)	—	2020年 2月15日(土)	
		70名 100名	後期入試		2020年 2月25日(火)～ 3月 4日(水)	2020年 3月 8日(日)	2020年 3月13日(金)	
			大学入試 センター試験 利用入試	1期	2020年 1月 6日(月)～ 1月24日(金)	2020年1月18日(土)・19日(日) 大学入試センター試験 ※本学での個別試験は課さない	2020年 2月15日(土)	
				2期	2020年 2月17日(月)～ 2月24日(月)		2020年 2月28日(金)	
				3期	2020年 2月28日(金)～ 3月 9日(月)		2020年 3月13日(金)	
			【現代社会学部】 現代社会学科	160名	編入学試験 社会人特別入試		1期	2019年 9月27日(金)～10月 4日(金)
	外国人留学生特別入試				2期	2020年 2月 3日(月)～ 2月12日(水)	2020年 2月18日(火)	2020年 2月21日(金)
高等学校	普通科	100名 (I類医進・I類の5名を含む)	専願入試		2020年 1月15日(水)～ 1月17日(金)	2020年 1月21日(火)	2020年 1月23日(木)	
		230名 (I類医進・I類の90名を含む)	前期入試		2020年1月24日(金)～1月29日(水) ※土日は除く	2020年 1月31日(金)	2020年 2月 4日(火)	
		50名 (I類医進・I類の5名を含む)	後期入試		2020年 2月 5日(水)～ 2月 7日(金)	2020年 2月 8日(土)	2020年 2月13日(木)	
中学校		140名	2019年12月13日(金)～2020年1月10日(金)必着 ※2019年12月28日(土)～2020年1月5日(日)は受付・受験票返送をしない			2020年1月13日(月・祝)	2020年 1月15日(水)	
幼稚園		ホームページ上で お知らせします	2019年11月1日(金)			2019年11月1日(金)・5日(火)・6日(水) ※3日間とも面接	—	

●詳細は入試要項をご確認ください。もしくはホームページにも掲載しております。[ホームページアドレス] <http://www.chikushi.ac.jp>
大学一般入試(前期日程)の試験会場は、本学以外にも北九州・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島があります。大学では外国人留学生特別入試、海外帰国生特別入試も実施します。詳しくはホームページをご覧ください。

受講料
無料

2019(令和元)年度 後期 筑紫女学園大学 公開講座
“ともいき(共生)”～あらゆる存在とのつながりの中で生かされていることへの目覚め～

	講座名	日時	会場	対象
シンポジウム	臨床心理センターシンポジウム 発達障害を持つ 幼児・児童・青年期の人への支援とは	10月 5日(土) 13:00～15:00	エルガーホール 多目的ホール (福岡市中央区天神1-4-2)	一般/ 100名
公開講座	第26回 仏教学研究室公開講義 「ビジュアル～親鸞の歩んだ道～」 ①親鸞の出自と比叡山での修学 ②専修念仏入門・専修念仏弾正 ③越後での親鸞 ④関東での伝道 ⑤晩年の執筆活動と関東での弾正	①10月 5日(土) ②10月12日(土) ③10月26日(土) ④11月 2日(土) ⑤11月 9日(土) 16:00～17:30	浄土真宗本願寺派 本願寺鹿児島別院 本堂ホール (鹿児島市東千石町21-38)	一般/ 70名
公開講座	自立に向けて幼児期と学童期で 身につけておきたい力	10月 8日(火) 10:00～11:30	春日市いきいきプラザ (春日市昇町1-120)	一般/ 30名
公開講座	親子で楽しもう! 令和がいざなう太宰府の自然	10月19日(土) 9:30～12:00	大宰府政庁跡 (太宰府市観世音寺4-6-1)	小学生及び その保護者/ 20名
体験講座	音楽と自然によるともいき ～ガムラン・ワークショップと“筑女の森”自然観察～	10月20日(日) 10:00～15:30 (12:30～13:30休憩)	筑紫女学園大学 飛翔会館3階 スクウェアティールホールおよび 学内高雄山遊歩道	一般/ 30名
公開講座	英語と英文学の世界 ①世界に愛される英語圏文学 ②Using English for Everyday Communication ③アルファベット:その成り立ちから現在までの歴史	①11月 2日(土) ②11月 9日(土) ③11月16日(土) 13:00～14:30	太宰府市 いきいき情報センター (太宰府市五条3-1-1)	一般/ 50名
公開講座	アジア塾「現代アジア考～伝統文化の今～」 ①中国少数民族の今 ②アジア伝統絵画のいま～モンゴル、ネパールを中心に ③民族の伝統音楽と現代	①11月 2日(土) ②11月 9日(土) ③11月16日(土) 14:30～16:00	太宰府市 いきいき情報センター (太宰府市五条3-1-1)	一般/ 50名
公開講座	筑紫想い出カフェ 2019公開報告会 ～地域回想法の成果と課題～	11月19日(火) 16:30～18:00	筑紫女学園大学 8号館1階8103教室	一般/ 20名
公開講座	空き家にしないための方策 ～異世代ホームシェアを考える～	11月30日(土) 14:30～17:30	筑紫女学園大学 6号館1階6101教室	一般/ 100名
公開講座	仏教専修課程入門講座「親鸞思想へのいざない」	12月11日(水) 19:00～20:30	光蓮寺 梵誓会館ホール (太宰府市幸府1-10-23)	一般/ 50名
公開講座	文学と南(8)「現代詩と南」 ①丸山豊の世界 ②田村隆一の世界 ③茨木のり子の世界	①2020年 1月11日(土) ②2020年 1月18日(土) ③2020年 1月25日(土) 14:00～16:30	太宰府市 いきいき情報センター (太宰府市五条3-1-1)	一般/ 30名
公開講座	発達障害児のこれまでとこれから	2020年 2月 8日(土) 14:00～16:00	コムシティ (北九州市八幡西区黒崎3-15-3)	一般/ 30名
公開講座	文学と旅 ①「漢詩で旅する日本の名所」 ②「源氏物語における筑紫への旅」 ③「近世文学に描かれる身近な船の旅」	①2020年 2月 8日(土) ②2020年 2月15日(土) ③2020年 2月29日(土) 13:00～15:00	筑紫女学園大学 6号館2階6201教室	一般/ 30名

お申込み・お問合せ 筑紫女学園大学社会連携センター
〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目12-1
TEL/092(925)9685 FAX/092(925)9683
Eメール/gakushu@chikushi-u.ac.jp

お申込み方法 ハガキ・FAX・Eメールまたは
本学ホームページより
(Eメールは右のQRコードから)

＊お申し込みの際は、①受講希望講座名②氏名(フリガナ)③郵便番号④住所⑤電話番号・FAX番号をご記入ください。＊定員に達した場合は、締切りとなりますのでご了承ください。
＊お預かりした個人情報は適切に管理し、公開講座運営以外に使用することはありません。